

1 (自由提案部門)

事業名 住みやすく賑わいのある大手前通りづくり

実施主体 住みやすく賑わいのある大手前通りをめざす会

県担当課 地域政策課地域振興室

事業の成果

事業の目的 [地域づくり]

- 行政と対話しながら、協働のまちづくりに取り組んでゆける住民組織づくりが目的。
- 勉強会、フォーラムを通じて意見交換を行いながら、市・県に対して、大手前通り周辺のみちづくり、まちづくりに関する提案を行った。

事業の内容

- 住みやすく賑わいのある大手前通りをめざす会を組織し、「これから創る、美しい松江のあり方」等フォーラムを2回実施した。
- PR活動(チラシ・ポスター作成等)の実施。
- ホームページによる情報発信等。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 定期的に行った勉強会により提案をまとめることができた。
- 又、フォーラムなど専門家による講演から、有意義なアイデアをいただくことが出来た。

反省点・改善点

- 成果の発表など、マスコミへの働きかけを県と連携して行うことで、PRの効果を高めることができたかもしれない。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 県とネットワークを通じて、専門家の紹介をしていただくことができた。

県との協働効果 [十分効果があった]

- 県外の専門家の紹介など、県のもつ人的ネットワークを活用させていただいたことによる効果は大きい。
- また、フォーラムの講演料や会場使用料などへの助成により、通常の活動からさらに活動の枠を広げることができた。

県への要望事項 [特にない]

反省点・改善点 [特にない]

市町村との協働 [協働しなかった]

- 特に役割分担を行わなかったが、活動成果(まちづくり、みちづくりへの提案)については、今後、活かしていただく方針である。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 今年度は、大手前通りみちづくり委員会が組織され、歩行空間のデザインや使い方について、計画が策定される予定である。
- めざす会からの提案もみちづくりに取り入れられる方針である。

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 前述した「大手前通りみちづくり委員会」に委員として参加する。
- また、通常の勉強会においては、会員からの出資(会費等)により賄う。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 地域づくりに対する活動は、やはり継続することが重要。
- 長期的な活動の中で、県からの人的協力による力は大きいと考える。

